



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月6日

上場会社名 株式会社 バナ - ズ
コード番号 3011 URL <http://www.banners.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 小林 由佳

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 大内 修

TEL 048-523-2018

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	2,926	0.4	78	18.6	68	30.8	129	
2019年3月期第3四半期	2,937	5.1	95	32.0	98	43.9	3	87.1

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 127百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 5百万円 (81.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	7.70	
2019年3月期第3四半期	0.20	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	7,431	2,447	32.8	146.17
2019年3月期	6,970	2,608	37.3	155.78

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 2,436百万円 2019年3月期 2,599百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				2.00	2.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,865	6.9	37		50		231		13.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	20,236,086 株	2019年3月期	20,236,086 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	3,490,605 株	2019年3月期	3,490,202 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	16,745,587 株	2019年3月期3Q	17,990,609 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている連結業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、英国のEU離脱問題や米中通商問題などにより先行き不透明な状況が続いております。

一方わが国経済は、設備投資の増加や雇用・所得環境の改善がみられる一方で、消費税率引き上げ後の消費の落ち込みなどの影響も見受けられます。

このような事業環境下におきまして、当社グループは全社を挙げて各事業の特性及び付加価値性を活かした事業活動を推進いたしております。

不動産利用事業におきましては、埼玉県本庄市所在の当社所有物件の再開発事業を進めるとともに、群馬県高崎市のオフィスビル建設および群馬県前橋市のドラッグストア物件取得の事業を進めております。

本庄の再開発は、第1期工事は2019年6月に竣工して賃貸開始して、現在は第2期工事が進行中であり、2020年11月に竣工して賃貸開始の予定です。高崎の土地につきましては、高崎駅至近という好立地を活かした6階建ての賃貸オフィスビルの建設計画を進めており、2020年6月に賃貸開始を予定いたしております。さらに、2019年12月26日に取得の契約を締結いたしました前橋の不動産賃貸物件（ドラッグストア）は2020年3月末に竣工し2020年5月に賃貸開始予定です。

不動産業界は、用地取得競争の激化や建築価格の上昇などにより厳しい経営環境が続いておりますが、引き続き好条件の賃貸用物件の取得に向けて積極的に取り組んでまいります。

自動車販売事業におきましては、CS向上を重点に活動し、付帯利益獲得のため知識・技能向上を推進してまいりました。消費税率引き上げ後である当第3四半期におきましては売上の落ち込みが見られましたが、「N-BOX」の販売は引き続き好調に推移しており、「新型FIT」も好調に先行受注を頂いて、発売予定の2月以降の売上に貢献できる見込みです。新型「N-WGN」は一時生産停止により売上計画に変更が生じましたが、前期に引続き体制強化やトップセールスの推進に取り組んでまいります。

楽器販売事業におきましては、市場ニーズに即した上質な商品を豊富に品揃えし、お客様の立場に立ったきめ細やかなサービスを提供してまいりました。世界の一流音楽家による演奏会や講習会、また国内のプロ奏者によるクリニック等も開催し、初心者の方から音楽大学生やプロの演奏家に至るまで、あらゆる層の演奏家のスキル向上に貢献することにより、専門店としての信頼を築き上げ、業績向上に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,926百万円（前年同四半期比99.6%）、営業利益78百万円（同81.4%）、経常利益68百万円（同69.2%）、特別損失203百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純損失129百万円（前年同四半期は親会社に帰属する四半期純利益3百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、前第2四半期連結会計期間において、連結子会社でありました平成産業株式会社の当社保有の全株式を譲渡し連結の範囲から除外したことに伴い、第1四半期連結会計期間より「建材販売」セグメントを報告セグメントから除外しております。

①不動産利用

売上高は236百万円（前年同四半期比90.8%）、セグメント利益は186百万円（同96.4%）となりました。

②自動車販売

売上高は2,273百万円（前年同四半期比103.0%）、セグメント損失は15百万円（前年同四半期はセグメント損失10百万円）となりました。

③楽器販売

売上高は417百万円（前年同四半期比93.5%）、セグメント利益は20百万円（同70.6%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末比461百万円増の7,431百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比622百万円増の4,984百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比160百万円減の2,447百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2020年2月3日の「通期業績予想（連結・個別）の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

当連結会計年度（2020年3月期）の連結業績の見通しは、売上高3,865百万円（前年同期比93.1%）、営業損失37百万円（前年同期は営業利益175百万円）、経常損失50百万円（前年同期は経常利益175百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失231百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益51百万円）を見込んでおります。

これらの大きな要因といたしましては、現在進めております埼玉県本庄市所在の当社所有の商業施設の再開発計画における、建設費の付随費用および建物解体費用等による販管費および特別損失の発生に加えて、自動車販売事業および楽器販売事業における売上高減少等の影響を考慮したことによるものです。なお、本庄市の商業施設の再開発工事は2020年11月に全ての工事が完了して全ての商業施設が稼働する予定であります。また、現在進めております高崎駅前6階建のテナントビル新築工事につきましては、2020年3月に竣工して2020年6月に賃貸開始の予定であり、新規取得をすすめております前橋市の賃貸物件につきましては、2020年5月に賃貸開始の予定であります。

（注）業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性もあります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,022,006	843,607
受取手形及び売掛金	87,312	41,787
商品及び製品	495,762	518,878
原材料及び貯蔵品	3,002	2,995
前払費用	8,293	11,497
短期貸付金	460,066	455,566
その他	10,724	76,257
貸倒引当金	△4	△9
流動資産合計	2,087,164	1,950,581
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,532,707	3,087,187
減価償却累計額	△2,637,339	△1,528,736
建物及び構築物(純額)	895,368	1,558,451
機械装置及び運搬具	191,387	206,365
減価償却累計額	△73,833	△83,917
機械装置及び運搬具(純額)	117,553	122,447
工具、器具及び備品	41,438	48,740
減価償却累計額	△30,718	△33,292
工具、器具及び備品(純額)	10,719	15,447
土地	3,296,859	3,296,859
リース資産	51,364	44,390
減価償却累計額	△34,871	△31,697
リース資産(純額)	16,493	12,692
建設仮勘定	485,537	397,372
有形固定資産合計	4,822,532	5,403,270
無形固定資産		
投資その他の資産	1,508	1,683
投資有価証券	18,409	18,402
長期貸付金	7,603	7,553
繰延税金資産	14,762	31,391
その他	25,404	26,101
貸倒引当金	△7,164	△7,164
投資その他の資産合計	59,015	76,285
固定資産合計	4,883,056	5,481,239
資産合計	6,970,221	7,431,821

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	294,231	171,895
短期借入金	440,000	776,000
1年内返済予定の長期借入金	377,388	318,645
1年内返還予定の預り保証金	50,369	44,252
未払費用	25,341	21,267
未払金	31,332	182,530
未払法人税等	12,676	573
未払消費税等	22,529	5,020
賞与引当金	11,508	8,190
前受金	202,839	204,253
その他	21,692	37,513
流動負債合計	1,489,908	1,770,142
固定負債		
長期借入金	1,056,834	1,239,642
役員退職慰労引当金	8,601	10,887
退職給付に係る負債	77,985	80,414
預り保証金	941,665	1,073,758
長期前受収益	49,453	81,901
繰延税金負債	326	—
再評価に係る繰延税金負債	718,180	718,180
その他	18,558	9,147
固定負債合計	2,871,607	3,213,932
負債合計	4,361,515	4,984,074
純資産の部		
株主資本		
資本金	307,370	307,370
資本剰余金	576,031	576,031
利益剰余金	722,638	560,139
自己株式	△646,368	△646,417
株主資本合計	959,671	797,123
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	1,639,601	1,639,601
その他の包括利益累計額合計	1,639,601	1,639,601
非支配株主持分	9,432	11,021
純資産合計	2,608,705	2,447,746
負債純資産合計	6,970,221	7,431,821

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	2,937,443	2,926,772
売上原価	2,227,819	2,206,558
売上総利益	709,624	720,213
販売費及び一般管理費	613,666	642,115
営業利益	95,957	78,097
営業外収益		
受取利息	8,549	5,791
受取配当金	88	73
貸倒引当金戻入額	11,614	—
その他	4,334	3,922
営業外収益合計	24,587	9,787
営業外費用		
支払利息	16,768	17,939
貸倒引当金繰入額	3,356	—
その他	1,552	1,516
営業外費用合計	21,678	19,456
経常利益	98,866	68,428
特別利益		
固定資産売却益	52	—
役員退職慰労引当金戻入額	9,788	—
特別利益合計	9,840	—
特別損失		
固定資産除却損	38,472	183,357
関係会社株式売却損	46,396	—
立退費用	—	20,000
特別損失合計	84,869	203,357
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	23,837	△134,928
法人税、住民税及び事業税	6,593	9,446
法人税等調整額	11,607	△16,956
法人税等合計	18,201	△7,510
四半期純利益又は四半期純損失(△)	5,636	△127,418
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,990	1,588
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	3,646	△129,006

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	5,636	△127,418
四半期包括利益	5,636	△127,418
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,646	△129,006
非支配株主に係る四半期包括利益	1,990	1,588

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	不動産利用	自動車販売	楽器販売	建材販売 (注) 2	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への売上高	259,931	2,208,158	446,264	23,088	2,937,443	—	2,937,443
セグメント間の内部 売上高又は振替高	44,683	97	—	—	44,780	△44,780	—
計	304,614	2,208,255	446,264	23,088	2,982,224	△44,780	2,937,443
セグメント利益又は 損失(△)	192,935	△10,218	28,889	△809	210,797	△114,839	※ 95,957

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△114,839千円には、セグメント間取引消去23千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△114,863千円が含まれております。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. 建材販売事業は2018年9月5日に平成産業株式会社の全株式を譲渡したことにより、みなし売却日を2018年9月4日として、その時点までの業績を表示しております。
- ※四半期連結損益計算書の営業利益

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間において、前連結会計年度において連結子会社でありました平成産業株式会社の保有株式全株を譲渡し、同社を連結の範囲から除外し、建材販売事業から撤退しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	不動産利用	自動車販売	楽器販売	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	236,088	2,273,356	417,327	2,926,772	—	2,926,772
セグメント間の内部 売上高又は振替高	45,673	89	3	45,766	△45,766	—
計	281,762	2,273,445	417,331	2,972,539	△45,766	2,926,772
セグメント利益又は 損失(△)	186,076	△15,134	20,410	191,352	△113,254	※ 78,097

- (注) セグメント利益又は損失(△)の調整額△113,254千円には、セグメント間取引消去6千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△113,260千円が含まれております。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- ※四半期連結損益計算書の営業利益

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第2四半期連結会計期間において、連結子会社でありました平成産業株式会社の当社保有の全株式を譲渡し連結の範囲から除外したことに伴い、第1四半期連結会計期間より「建材販売」セグメントを報告セグメントから除外しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間における当社グループの報告セグメントは、「不動産利用」、「自動車販売」、「楽器販売」の3区分で構成されることとなりました。